



## ニュースリリース

2020年7月27日

日鉄エンジニアリング株式会社

**舞鋼中加鋼鉄向け****乾式脱硫脱硝設備（DDDS）の竣工・稼働開始について**

日鉄エンジニアリング株式会社（代表取締役社長：石倭行人、本社：東京都品川区、以下「当社」）は、中国の合弁会社「北京中日聯節能環保工程技術有限公司」（以下「BJCEEE<sup>※1</sup>」）と共同で受注した「舞鋼中加鋼鉄有限公司」（中国河南省、以下「舞鋼中加」）向けの乾式脱硫脱硝設備をこのたび竣工し、本設備は順調に稼働を開始いたしました。

当社納入の乾式脱硫脱硝設備（DDDS<sup>※2</sup>）は、中国政府が2020年から義務付ける超低排出基準（SO<sub>2</sub>：≤35 mg/Nm<sup>3</sup>、NO<sub>x</sub>：≤50 mg/Nm<sup>3</sup>、煤塵：≤10 mg/Nm<sup>3</sup>）に対応した第1号機です。製鉄業の原料（鉄鉱石）の焼結工程にて発生する排ガスに含まれる有害物質（SO<sub>2</sub>・NO<sub>x</sub>・ダイオキシン・煤塵など）を、乾式プロセス（活性炭利用）により、高効率に吸着・除去する最新鋭の環境対策設備です。また、排ガスから除去したSO<sub>2</sub>は、濃硫酸の工業製品として有効利用されます。

今回の舞鋼中加向けは、

- ① 国内10基・海外3基の納入実績、30年以上にわたる安定稼働実績。<sup>※3</sup>
- ② 徹底したホットスポット<sup>※4</sup>・腐食への対策。
- ③ 当社独自の活性炭性能評価技術。（最適な活性炭の選別・設備仕様の決定）

といった点を高く評価いただき、当社のDDDSが採用されました。

また、基本設計は当社が担当し、現地での実行設計・調達・据付・試運転をBJCEEEと協業の上で実施することで、QCD管理についても、舞鋼中加より高い評価を頂きました。

当社は、日本の製鉄業で培った環境・省エネに強みのあるDDDSを国内のみならず、BJCEEEとの更なる協業深化により、中国鉄鋼・焼結業界の発展および環境保護に大きく貢献してまいります。

※1 BJCEEEは、英語社名 Beijing JC Energy & Environment Engineering Co., Ltd.の略です。

※2 **DDDS**は、Dry De-SO<sub>x</sub> De-NO<sub>x</sub> Systemの略。当社は2017年11月に環境に優しい排煙処理技術として、住友重機械工業<sup>(株)</sup>より事業譲受しました。

※3 納入実績・稼働実績は、当社が事業譲受する以前の住友重機械工業<sup>(株)</sup>の実績です。

※4 ホットスポットは、活性炭の滞留等が原因で局所的に蓄熱し、活性炭の熱暴走が起こる現象です。当社はホットスポットの発生傾向を熟知しており、その防止策を徹底的に施した設備をお客様にご提案しております。



【設備全景】

【お問い合わせ先】

サステナビリティ・広報部 広報室：03-6665-2366

URL: <https://www.eng.nipponsteel.com/contact/index.html>

以上